がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	バンデタニブ(カプレルサ錠)
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	根治切除不能な甲状腺髄様癌
保険適応外の使用	□有 ■無

がん治療ワーキンググループ使用欄			
登録番号	thyroid-2		
登録日・更新日	2019年2月26日		
削除日			
出典	カプレルサ添付文書		
入力者	伊勢崎竜也		

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	バンデタニブ (カプレルサ錠)	100mg	300mg/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(経口)	1日1回	連日

1コースの期間	設定無し
投与間隔の短縮規定	該当しない
計算後の投与量上限値	100%
計算後の投与量下限値	30%
減量・中止基準	【休薬・減量基準】 ・QT間隔延長 500msecを超える QTでが480msec以下に軽快するまで本剤を休薬し、再開する場合には休薬前の投与量から減量すること。 本剤を休薬し、6週間以内に480msec以下に軽快しない場合には、本剤の投与を中止すること。 ・その他の副作用 グレード3以上 回復又はグレード1に軽快するまで本剤を休薬し、再開する場合には休薬前の投与量から減量すること。 初回投与量 300mg/body 1段階減量 200mg/body 2段階減量 100mg/body ・CrCl <50 mL/min: 初回投与量を200mg/bodyへ減量し、QT間隔を定期的にチェックする。
前投薬	なし
その他の注意事項	・間質性肺疾患があらわれ、死亡に至った症例が報告されているので、初期症状(息切れ、呼吸困難、咳嗽、疲労等)の確認、胸部画像検査の実施等、観察を十分に行うこと。 ・定期的な心電図測定、電解質検査を実施すること。

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	大山 優